

青春▶再生

いまは俱樂部

第17号

ビタミンC

社会福祉法人 慈恵会
 特別養護老人ホーム
 あいふるの里
 愛知県一宮市浅井町
 西海戸字余陸寺45-1
 ☎ <0586> 78-8441
 平成10年5月1日発行

愛知県民間老人福祉施設協議会

第1回 愛知大会

大会宣言

いま、老人福祉施設は介護保険法の成立により、行政依存傾向の強かった施設の経営のあり方に大きな変革が求められています。

入居者・利用者が「いつでも」、「誰でも」、「どこでも」すぐ利用できる、サービス体制に心がけなければなりません。

われわれ福祉施設関係者は、決意を新たに次のことを宣言します。

- 1. われわれは、地域社会から一層の信頼を得るため、開かれた施設をめざします。
- 1. われわれは、利用者の個性を尊重し、利用者の視点に立ったサービスの提供、質の向上に努めます。
- 1. われわれは、介護保険制度に積極的に対応するため、新たな経営理念による施設運営をめざします。

以上、大会参加者の総意をもって宣言します。

さる3月20日(日)、幸田町民会館にて、第一回、民間老人ホーム愛知大会が開かれました。介護保険が2年後より導入されることになり、各施設、不安や心配が募る中、シンポジウムや、各施設の取り組みや三好春樹先生の講演会などに参加し、励まされ、"がんばろう"という気持ちがあわてきました。

お年寄りが安心できる社会を、そして施設を目指すことが、介護保険導入への心構えだと思えます。

今回、あいふるの里からも研究発表を行いました。「食事について」という研究テーマで発表しました。

発表内容を記事にしましたので、是非ご一読下さい。

発表要旨

食事について

氏名 秦 昌治
 施設名 あいふるの里
 施設種別 特別養護老人ホーム

私共のあいふるの里は県内の北部一宮市にあります。木曾川のほとりに位置し、川を越えれば岐阜県という所です。

開設は平成2年でございまして入所者数は80名、他にショートステイ、デイサービスA型及びE型、移動入浴、配食給食サービス等の事業を行っております。

本日は、食についてという事でこの宅配給食サービスについて発表させて頂きま

す。私、あいふるの里在宅福祉の責任者の秦でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私共の施設は市街型で、住宅地の中にあるという事もあり、在宅給食サービスには力を注いでおります。とりわけ食のサービス在宅宅配給食サービスには、全力で取り組んでおります。

平成4年から始めて、1回が7ヶの弁当が、年を追う毎に数を増し、又、回数も週1回が2回になり、さらに3回になり、1回が100食を越えるまでになりました。さらに、夕食を始め年間一五、〇〇食に達しました。

実施曜日は、昼食が火・木・土、夕食が月・水・金であります。昨年、厨房拡張

工事を終え、ハード面ではその能力に若干のゆとりができましたが、ソフト面です。つまり配る事や食事を作る事に、かなり苦労しているというのが、現状であります。しかし、以前よりあいふるの里に来て頂いていたボランティアの有志の方々が、「ほたるの会」という宅配ボランティア組織を作った下さりで、宅配の大部分をまかなって下さっています。また、さわやか福祉財団のご厚意により、民間企業の日本毛織一宮工場の方々と、縁結びをして頂き、企業ボランティアとして、手を貸して下さるようになり、配る方では何とかやっております。作る方は、本職でございますので、労働効率の改善、つまり、生産性の向上を計る事と根性で、しのいでいるという次第でございます。

言葉でいうと、さりとて言えてしまいが、大変な事も沢山あります。例えば、一昨年頃から騒がれている0-157にしても、私達は安全も味の内と

考え、食中毒対策も徹底的にやりました。今では、HACCPにも殆どの項目で合致する所までできました。又、食品添加物をなくしたいと、漬物を自家製にしたり、

ハム・ソーセージの類も自家製にしたり、味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

味噌を作ったり、うどんを作ったりして

お米も近所の田んぼで契約農家に作ってもらったりと、考えられる限りの事はやってきたつもりです。宅配方法についても、パソコンを利用して、宅配順序地図を作ったりして、時間短縮をはかっています。

しかしこれについては、人間対人間の事なので、思った通りにはいきません。お年寄りの話が長びいたり、チャイムを押してもお年寄りが出てこなかったりします。

「居ないなあ」とは思いながらも気になってへいを乗り越えたり、大家さんに鍵を借りて走ったりと、時間は気にできない事が多くあります。まあ、安否確認もこの事情の意義の1つですから、仕方ありません。それに、本当にお年寄りが部屋で倒れていたりしています。私も2回程、経験しましたが、もうびっくりです。

救急車を呼んだり、身寄りの方に電話したりと、もう大変です。又は、私のような男性が行くと、戸を直してくれとか、棚を吊ってくれとか頼まれます。私も尾張生れの尾張育ち、生粋の江戸っ子ですから、頼まれればいやとは言えません。でも、家では釘もうてない男なんです。当然、うまくおなる事は少ないです。

話がそれてしまいましたので、元に戻しますが、私達スタッフは、宅配弁当を作っても、デイサービス、それが終わればホームの食事とすぐには宅配に出発できません。

が導入されますが、食についてのサービスには殆んど触れられておりません。宅配給食サービスにいたっては、横出しサービスというグリコのおまけのような扱いになってます。

誰もが望む老後の在り方、つまり、在宅で暮らす自分の家で年老いても暮らす為、まず、一番に必要な筈の食が抜けおちてしまっています。数年毎に見直しがされるという事ですから、いずれ、在宅サービスの柱の1つとなるでしょうが、その為には我々老人福祉施設に関わるすべての人々が常に『食』について考え研究し、その成果を広報し、広く共有のものと

して、社会に訴え続けなければならないと考えます。そして、お年寄りは同じ金額保険料を払うのですから、同一プライス、同一バリュー、つまり、同じ金額なら同じ価値のものでなければなりません。宅配給食サービスについて言えば、日本全国同じくらいの美味しさ、同じくらいのおたかさを求めなければなりません。そういう意味では、あいふるの里の宅配給食サービスは、あいふるの里だけでは完全なものではありません。

これから、私達は、さらに研究を重ねる覚悟ですが、私達と共に将来あるべき宅配給食サービスを考え、同一のシステムを確立する事が、急務だと考えます。愛知県で、確立されたサービス形態が日本全国へと広がります。スタンダードとなる事を信じて、一緒に研究会等を作って頂けたらと思います。

本日は御静聴有りがとうございました。

本日は御静聴有りがとうございました。

本日は御静聴有りがとうございました。

本日は御静聴有りがとうございました。

本日は御静聴有りがとうございました。

本日は御静聴有りがとうございました。

本日は御静聴有りがとうございました。

本日は御静聴有りがとうございました。

又、ほたるの会のボランティアスタッフも、十数個を配達するとなると最後はかなりさめてしまいます。

自分たちの作った物がどんどんその価値をおとしめていく、料理人としてこんなつまらない事はありません。

私達の作った物が、お年寄りの口に入る頃には、味はもちろん姿すら変わってしまっている事さえあるのです。

何とかできないだろうか。何かうまい方法は無いだろうかと考え、容器を色々変えたりしてきました。

最初は容器自体に発泡スチロールを内蔵した断熱容器に始まり、次にケータリングBOXにウレタンホームを仕込んだ物を使用しました。

又、ヒートシートで容器をくるんだり、ご飯・味噌汁は、ジャーやポットにつめてお年寄りのお宅でつけたりと、試行錯誤を重ね、今は試験的ではありますが、温蔵庫をそのまま車に積んで宅配しています。これは、電気式の配膳車を車に積めるようにした様なものです。

私達、宅配給食サービスに携わるいくつもの施設の現場の声を商品化したものから、かなりいい線いっていると思います。

このような温度管理は料理には大きな味の要素となります。

サラダはパリッとしているのがうまいし、ご飯は湯気がたつというのがうまいのです。味噌汁にいたっては、言うまでもない事です。

作った時の状態そのままをお年寄りに運ぶため、色々な容器メーカーや、機器の

メーカーに商品開発を依頼したりもしております。

又、宅配給食サービスは、在宅の独り暮らしのお年寄りを対象とした事業ですから、時々は大勢で食事をしたり、話をする機会も提供したいと考え、年に数回程度、お年寄りに施設に来て頂き宴会を開きます。

『ふれあいパーティー』といまして、30kgのキハダマグロを姿盛りにする“陣流おろし”これは、和太鼓に合わせて、マグロをおろしマグロがはねているように盛り付けるお料理です。

その陣流おろしや、にぎり寿司なんかで楽しんで頂くパーティーです。まあ、ショーを見ながら料理を食べる、長島温泉のような感じです。

4月にはお年寄りとも相談をして、花見会にしようかなと思っております。このように、在宅給食サービスを通じて色々な老人福祉へ発展します。

私は、老人福祉への食からのアプローチはかなり、太い道のように感じております。

例えば、弁当容器1つとっても、私達のアイデアをメーカーに商品化して頂く為に活動したりする事は厳密に言えば食とはちがうのかも知れないのですが、食の追求から生まれる発想は、完成度の高い商品化には不可欠なものだと信じますし、何より、お年寄りが楽しい時、嬉しい時には、殆ど食が存在するというのが事実なのです。

よかったねコーナー

「すばらしき1世紀」

ぽかぽかと暖かく、樹々の若葉やたくさんの花々が町を彩る春。今回は、この誰もが待ち望んでいる季節にふさわしく、明るく、そして素晴らしいニュースをお届けしましょう。去る晴天の3月11日、あいふるでは、一人の女性がお誕生日を迎えました。

熊澤みちゑさん、100歳。あいふるでは、100回目のお誕生日をお迎えした初めての方です。外見は、言わなければとても100歳とは思えないほどごく自然にこの日を迎え、大変お元気で、女性らしく今でもズボンにはかず、持ち物は全て大切に自己管理し、食後のデザートにもこだわりを持つ（特にみかんは大好物）あたり

は、今の若者が100歳になっても同じようには振る舞えないような強さとポリシーがある人だと、23歳の私は思うのです。

みちゑさんが過ごしてきた100年もの年月の間には、当然立つことのできないようなベビー時代があり、私達と同様の20代や家事に追われる30代があったことでしょう。そして、歴史が物語るように、戦争が起り、高度経済成長時代を支え、好況・不況の時代も乗り越えてきたことでしょう。

さて、本人はと言えば、100歳のお祝いの言葉をプレゼントしたところ、「私はまだ96歳です」とのお返事。生年月日を尋ねると、当たっている。つまり、私の心配りが少々足りなかったのか、いつになっても若々しくありたいという女心は、年齢を重ねても永久的に変わらないものなのでしょう。

うね。それが長寿の秘訣なのかもしれません。

さて、あいふるには100歳に近いという90代のお年寄りが数名います。共通しているのは、とにかく元気であり、自分流の生活スタイルがあり、そして強さがあります。特に女性は。あいふる初の100歳誕生に、職員として心からお喜び申し上げますと共に、これからもみちゑさんが健康で明るい毎日を過ごせますよう、お祈りしています。

(阪口 ひとみ)



クラブ紹介

「お経クラブ」

お年寄りと言えばお経、なんて縁起でもない、と思われるかも知れませんが、我があいふるが誇るクラブの中でも、参加人数がトップとなりやすい絶大な人気を持つのが「お経クラブ」です。このお経クラブ、いつも3階ホールで行われますが、毎回、ホールは人でいっぱいになります。中央には移動式の仏壇が置かれ、それを眺められる位の距離にお年寄りが集まり、般若心経真宗大谷派を読経します。

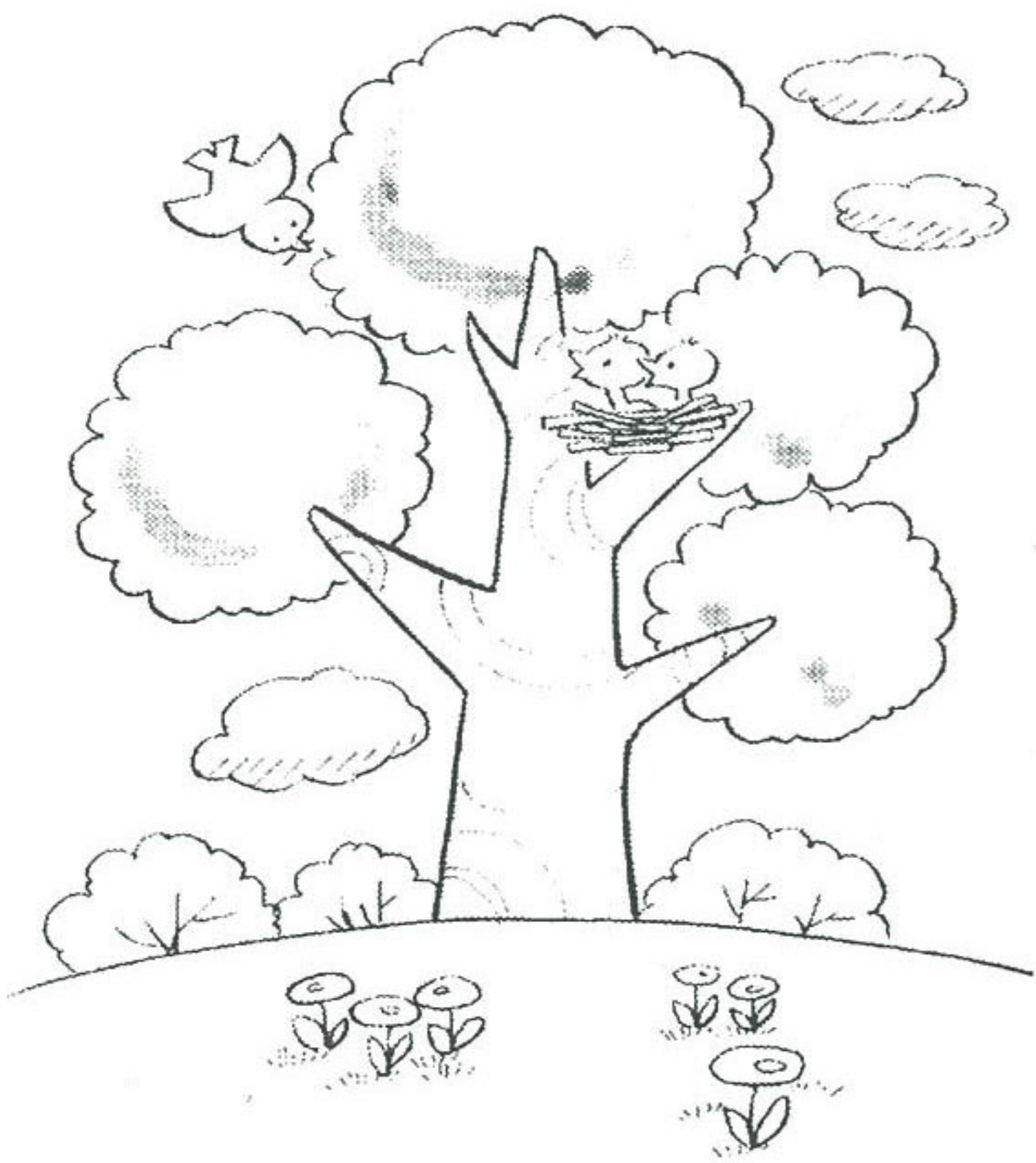
あるお年寄りは経本を手に持っていますが開いていません。宗派が違うのかと思いきや、本を見る必要もなく、口から経がスラスラと出てくるではありませんか。どこで覚えるのか、そんなファミリーが数多くいるのです。そして驚いたことに、こ

のお経クラブの担当であるワーカ、も、スラスラと読経できるではありませんか。このクラブでは、お経を吹き込んだテープを使用することがありますが、ファミリーにはテンポが合わない、音が聞き取りにくいなどの理由から、度々拡声機を使用し、直に読経します。(自慢ですが、我がお経クラブ担当の宇佐美ワーカーの読経は、かなりの上級者と思われまます。)

さて、クラブの最終には、お茶とおまんじゅうが参加者全員に配られ、少し休憩した後、それぞれの居室へと帰ります。もしかすると、中にはこの休憩時間を心待ちに、参加しているファミリーもいるかもしれません。職員にとっては、どんな気持ちで参加して下さいっても嬉しいのです。2階のファミリーと3階のファミリーの皆さんが同じ場所に集い、コミュニ

ニケーションを図る数少ない機会ですが、少しでも楽しんでいただければ、色々と考えています。

クラブから居室へと戻る際、仏壇の前で手を合わせるファミリーの姿はとても優しく愛らしい、そんな表情を見ることができると、このクラブの魅力かも知れません。





平成10年度

祭りばやし



1月 別府温泉まつり 山梨信玄まつり 高知市 鳥取三朝まつり
 愛知針綱神社犬山まつり 熊本牛深ハチマキまつり 静岡浜松まつり 神田まつり
 岐阜古川祭起こし太鼓 長崎まつり 浅草三社祭 札幌ライラック祭

花まつり 4月 8日 (水)
 ふれ愛パーティー 4月上旬
 (お花見)
 ホンコン祭 4月29日 (水)
 寿司えびす 5月12日 (火)
 開所記念祭 5月24日 (日)
 南国駅弁まつり 6月 9日 (火)
 あじさい祭 6月中旬

5月 北海道
 山梨藤切り祭
 下田黒船祭

6月 新潟
 新潟
 長崎

7月
 長野和合念仏
 千葉茂原七夕祭り
 徳島うみがめ祭り 大阪住吉大社

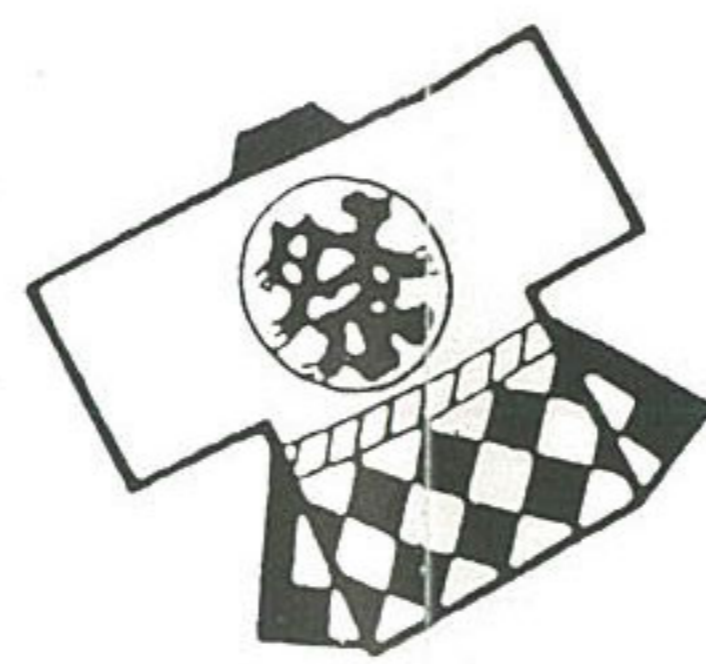
8月 弘前ねぶた祭 福島わらじまつり
 高知よさこいまつり 茨城水戸黄門祭
 京都大文字五山送り火 山梨石和温泉

9月 富山越中おわら風の盆 茨城
 宮城鳴子町こけしまつり 三重
 石川お熊甲まつり 瀬戸せともの祭
 10月 京都北野ずいき祭 長野浅間温泉松明祭り 福井
 岐阜信長まつり 秋の高山まつり 沖縄那覇まつり 岐阜どぶろく祭
 和歌山熊野御船まつり 愛媛新居浜太鼓まつり 東京日本橋べったら市
 奈良神鹿の角切り 京都鞍馬の火祭 京都時代祭 東京目黒不動甘藷まつり

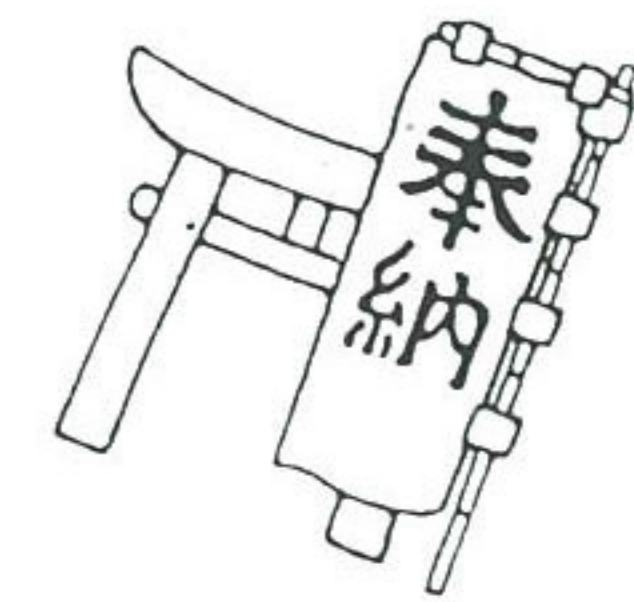
11月 岩手平泉秋の藤原祭 佐賀唐津くんち 新潟弥彦菊まつり 徳島阿波の狸まつり
 山もみじ祭 徳島轟神社秋祭 山口天神まつり 愛知さんぞろ祭 東京品川千体荒
 工穂神社の夜神楽 愛知奥三河の花祭



名代
 あいふる名物の数々あれど
 おらが自慢の鮎ッパれど
 ほたるの会の心気



いきな法被にふれ太鼓、思い出すのはあにさまの背中で
 見せてもらった鎮守様の村すもう。
 ちいさなちいさな・・・日本一小さなあいふるのお祭です。



12月 京都南座吉例顔見世 岐阜池の上祭 納めの大御
 針供養 埼玉飯田鉄砲まつり 徳島 門松立て 御用納め
 三重伊勢大 大みそか 京都八坂 山形出羽三山松例祭

バスビクニック 10月 7日 (水)
 豊年夜祭 10月24日 (土)
 VIVA感謝祭 10月25日 (日)
 菊祭 11月上旬
 北国駅弁まつり 11月12日 (木)
 新ソバ祭 11月下旬
 クリスマス 12月23日 (水)
 もちつき納会 12月26日 (土)

1月 群馬
 東

東京葉巻
 沖縄名護市さくら

皇居一般参賀 初水天宮 東京消防出初式
 徳島 福岡太宰府天満宮うそが 比羅
 長野新野の 御観音
 宮幸若舞 戸天神社

新春祭 1月 1日 (金) ~
 左義長 1月 4日 (月)
 なべ祭 1月14日 (木)
 節分 1月下旬
 甘酒祭 2月 3日 (水)
 ひなまつり 2月中旬
 3月 3日 (水)

2月 札幌雪まつり 山形蔵王樹氷まつり
 針供養 新潟十日町雪まつり 国府宮は
 秋田湯沢犬っこまつり 群馬すみつけ
 水戸の梅まつり 京都市上賀茂さんや
 福井勝山左義長まつり 山口秋吉台山

3月 福井神宮寺お水送り ひな祭り 東京深大寺だるま
 福岡太宰府天満宮曲水の宴 宮城塩釜神社帆手祭 茨城鹿島神宮祭
 東京高尾山火渡り祭り 東大寺二月堂お水取り 春日大社 愛知県田原市豊年祭
 京都清涼寺御松明 静岡大井八幡宮田遊び
 東京亀戸天神神忌祭 宮城志波彦神社例



まだまだ いろいろあります。
 受陀羅寺藤見
 名古屋場所相撲部屋見学
 町内地蔵盆
 一宮七夕祭・・・



デイサービスセンターだより



お花見

今冬は暖かかったためか、早くから桜の便りも届き、あいふるの里でも恒例のお花見に出かけました。
 やわらかな陽光、そよ風、花の香り……。



皆さん思いっきり春を満喫してきましたようです。これからは、家の中より外の方が心地よい季節です。窓を開けたり、たまには散歩したりして、風を感じてみてはいかがでしょうか。

家族会のご報告

平成10年3月に、あいふるの里デイサービスセンターでは「家族会」を発足させていただきました。

これまでの家庭介護者教室では、同じ利用日の人が集うという形でしたが、家族会の集いでは、より幅広い交流を図るため、いろいろな利用日の人を集っていただきました。また、特別養護老人ホーム 犬山白寿苑の施設見学では、



溝口祐一苑長はじめ職員・お年寄りの皆さんのお蔭で、参加者の皆さんからも大変好評でした。施設によって事情が異なるということ、お年寄りにとって環境や人間関係が大変重要であることなどを理解していただくことができました。

今年度は、毎月恒例の家庭介護者教室に加えて、この家族会の集いも年数回実施していきたいと考えています。当日は、利用者・ご家族揃ってのご利用となりますので、安心してご参加下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

避難訓練

3月18日 水曜日

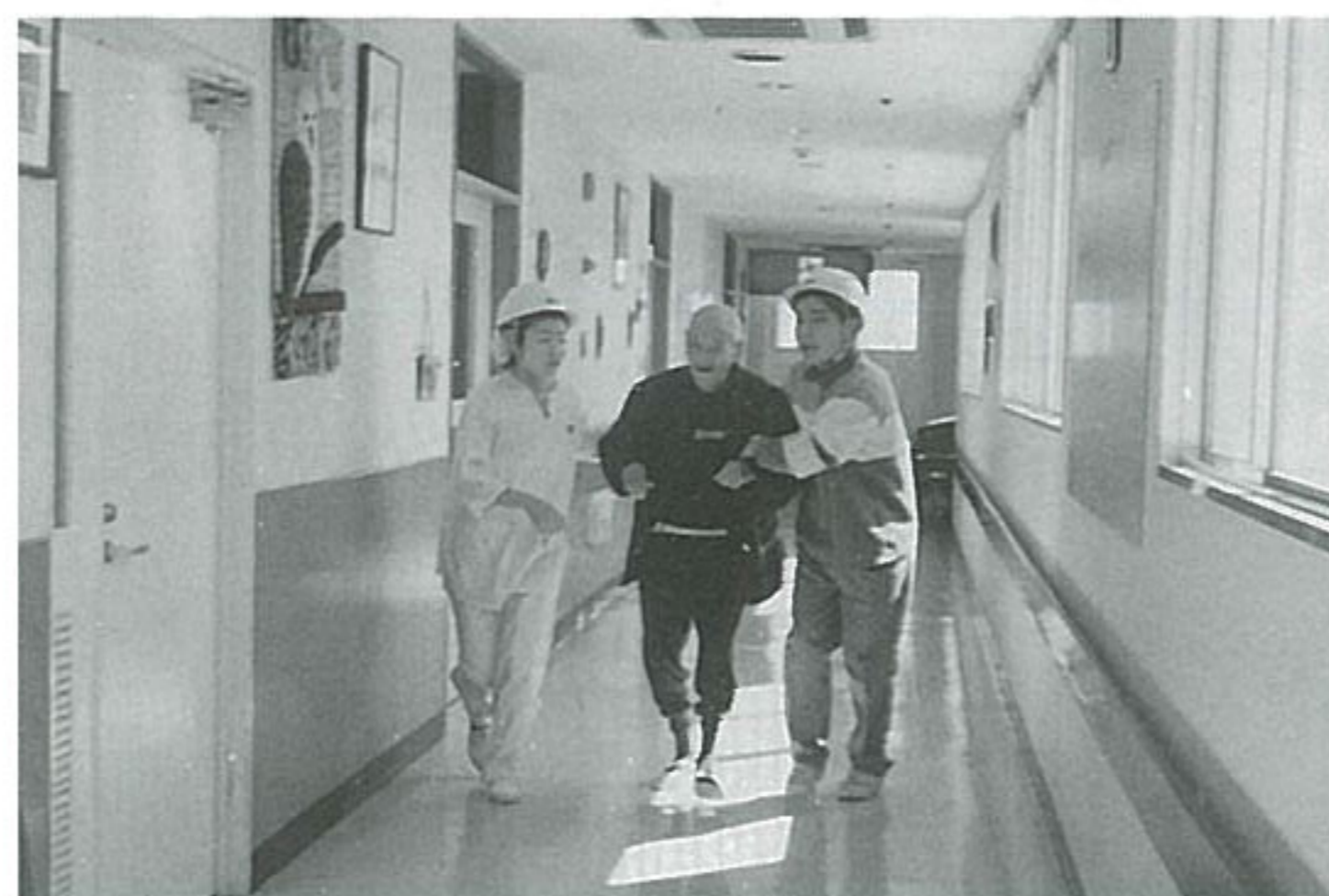
3月18日(水) 午前10時30分あいふるの里1階汚物処理室から出火!! リリリンという大きなベルの音で3階ワーカーセンターからワーカーがヘルメットをかぶり出火場所へかけ足で向かい、4階宿直室からは宿直者がすぐに階段を降りて消火にかいきました。



初期消火をしたが火の勢いが強く消火できず、消防署へ通報、ファミリーの避難を行いました。

「10時47分、全員、無事避難できました。」という報告で夜間火災が起きたと想定しての訓練が終了しました。

サイレンの音と職員の「火事だ!!」と呼ぶ声が、ピンと張りつめた緊張感の中で行うことができました。職員は訓練が終わった時には、全力を出しきってもう一歩も歩けないくらいの状態でした。



最後に消火器の使い方を習いました。全員が消火器を使えるようになりました。今後も万が一に備えるようにして、あいふるの里の防火管理体制を強化して、より安心して生活できるように職員一同努力を重ねていきたいと思えます。





理容ボランティア
一熊理髪店

男性ファミリーの皆さんが待ちこがれていた、理容ボランティアさんをご紹介します。

あいふるの里男性ファミリーは18名です。いつもは職員がファミリーの髪をバリカンで刈ったり、ハサミで揃えたりしていますが、床屋さんに来てくれるともなると、2階理容コーナーは皆さんが長い列を作って順番を待っている状態です。



それぞれの人が、床屋さんと世間話をしながら散髪していただき、皆さん、さっぱりとした頭に納得した様子で「気持ち良くなった、また来てね。」と声をかけています。



約2時間余りかかって全員の髪を切り終わっても、笑顔で「また、来るからね。」と言って下さる一熊さん。

男性ファミリー全員でいつも楽しみに待っています。

甘酒まつり週間

2月11日～2月18日まで、あいふるの里観音通り商店街にて、甘酒まつりが行われました。

ボランティアほたるの会の皆さんが、江戸情緒たっぷりの町人になり、通りがかりの町人(ファミリー)をかたっぱしから店の中へ引っ張っていきます。

ファミリーもみるみるうちに増え、通りをふさいでしまうくらいの大賑わいになりました。

みんな甘酒飲んで「酔っぱらっちゃった」と皆さん大きな声で大はしゃぎでした。



ありがとうございました

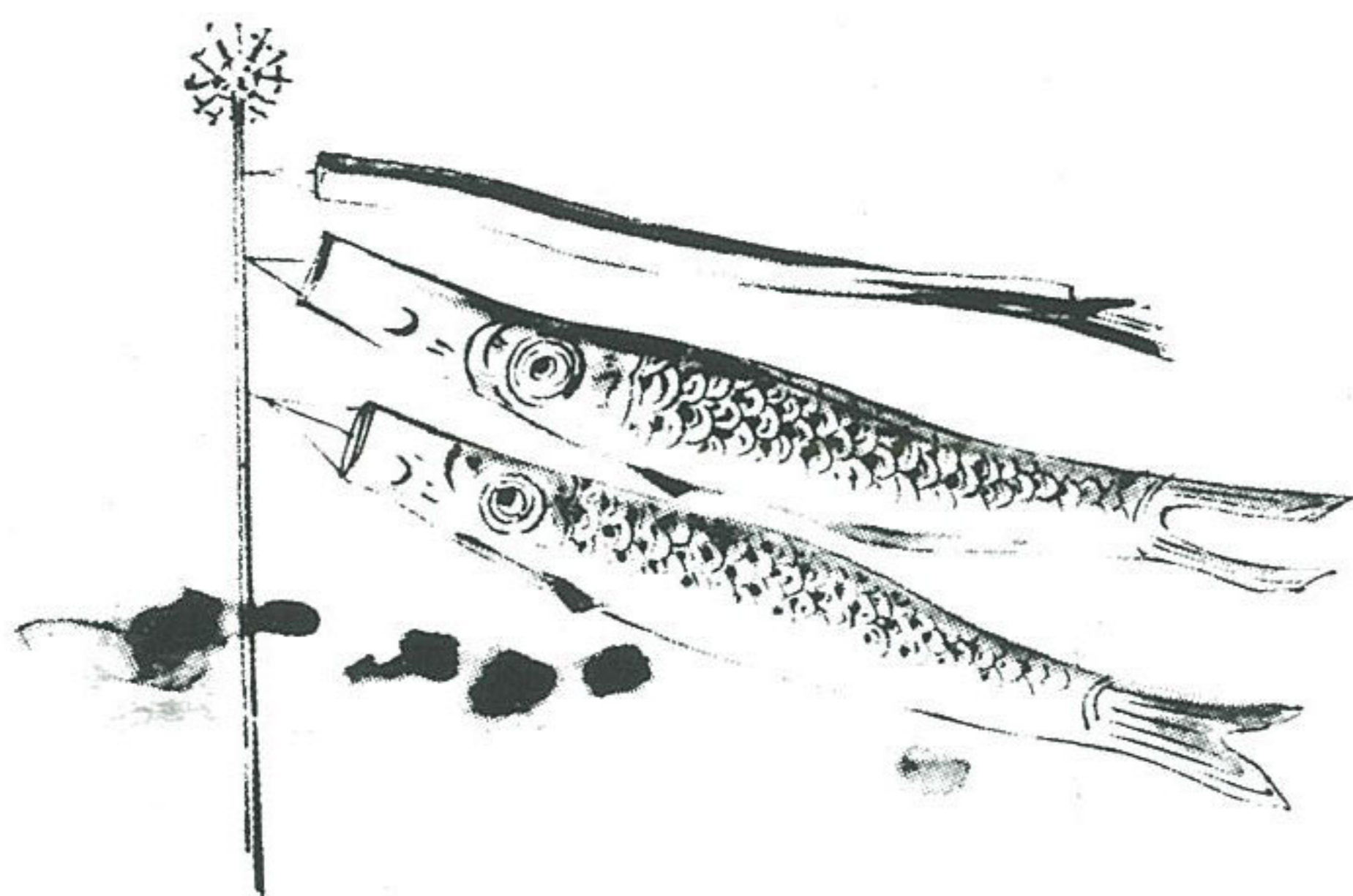
<寄付物品><平成9年12月26日～平成10年3月31日>

坂川伊佐子様ご家族、森歯科医院様、岩田ヒサノ様ご家族、戸田スミエ様ご家族、岩田アヤ様ご家族、渋谷とめ子様ご家族、高山薬局様、春日井よう様ご家族、特別養護老人ホームサンビレッジ新生苑様、河村をぎん様ご家族、加納志ず様ご家族、岩田きく子様ご家族、若松清様ご家族、岩田ふさ様ご家族、伊藤善男様ご家族、匠設計様、花村泰章様ご家族、尾関嘉寿子様ご家族、岩田綱夫様ご家族、岩田ひで子様ご家族、小林美材商社様、栗本きよめ様ご家族、新頭清様ご家族、浅井町長寿会様、

渡辺寅三様、慈恵福祉専門学校様、長尾千代様ご家族、山本ふくゑ様ご家族、野村シゲ様ご家族、木村幸一様ご家族、内田のぼる様ご家族、林鈴江様ご家族、井亦鐵造様ご家族、山下正之様、サークル福寿草様、中部善意銀行様、安達まさ子様ご家族、前田様、東急建設様、鈴木静枝様、祖父江きみ子様ご家族、松下電工様、坂巻うめ乃様ご家族、千秋病院寺田様、柴田正秋様ご家族、平林三四雄理事様、安江つや子様、菊口裕佳子様

<寄付金><平成9年12月26日～平成10年3月31日>

辻 秀雄様



笑門

介護保険が2年後に導入されるとあって、老人ホームの職員は、どうなるのかという不安を持っています。それ以上に、お年寄りを介護しているご家族の皆さんはもっと関心を持っていて、「うちのおじいちゃん、面倒見てもらえるのかなあ！、自分たちの老後はどうなのかなあ。あいふるさん、何とかしてね。」と言われます。

安心して介護できるように施設、社会が変わらなければいけません。介護保険が、お年寄りの生活を豊かにするものであってほしいと思っし、又、あいふるの里も今まで通り、社会の中で役割を担う人情施設でありたいと思います。